

近畿大学生協×阪南大学生協×大阪樟蔭女子大学生協 3大学交流会



[組織運営]

取り組み概要

日時：10/05(土) 10:30～17:00
場所：阪南大学 3号館
参加者数や組合員の反応：
近畿大16名、阪南大20名、
大阪樟蔭女子大2名、職員3名

背景や概要：他大学と新学期について交流したいという声をきっかけとして数年前から3大学交流会が始まった。そして今年は生協学生委員会のこれからの活動について考え、他大学の学生委員がどういった活動をしているのかを知っていくために、各大学からコアメンバーを募り、交流会を実施した。

他大学の学生委員と楽しく交流、
楽しく学ぶ

POINT.1

交流会を1からつくりあげる



この交流会は3大学の学生委員会だけで作っていました。各大学から1～2名ずつ集まったコアメンバーが中心となり、役割分担などをしながらコンテンツを1から作りあげました。企画書等は適宜職員にも共有しながら、企画作りを進めていました。

また、2年連続して行っていた企画ですが、現状は年によって違います。今年は今年の現状があるため、現状を考えることからスタートして企画目的・企画内容を作っていました。

POINT.2

コミュニケーションを通して 仲を深めるレクリエーション！

交流会では、班内で仲良くなるために、「GIクイズ」「50音クイズ」「カタカナナシ」の3つのレクリエーションを行いました。こちらは3大学の1年生が協力してスライド作成や提起を行いました。コアメンバーだけでなく、参加する1年生も交流会の企画に協力するなど、みんなで交流会をつくりあげているところが素敵です。班内のメンバーと協力し、コミュニケーションを通して楽しめるレクリエーションが多く、どのレクリエーションも非常に盛り上がっていました。



POINT.3

交流だけで終わらせない分科会



通常期と新学期の活動について分科会を行いました。大阪樟蔭女子大学からは社会的課題班の取り組み、近畿大学からは共済班の取り組みと入学準備説明会、阪南大学からは食堂班の取り組み、入学前オリエンテーション、学生生活スタートダッシュセミナーについての発表がありました。

提起資料には取り組みの概要や結果以外にも、実施にあたった背景や目的・課題点も記載することで、聞き手が自分の学生委員会に活用できる点や共通点を見つけられる工夫がされていました。交流会だけで終わらせるのではなく、通常期・新学期活動に活かすことができるような学びの時間を盛り込むことができていました。